

令和5年度 部局経営目標

年度	令和5年度	作成日	令和5年4月1日
部局名	北房振興局	部局長名	大塚 清文
(1) 部局の役割・使命（ミッション）・経営方針			
<p>1.災害に強いまちづくり【No.11:住み続けられるまちづくりを】 市民の安全安心な暮らしを守るため関係機関・団体と連携を密にし、防災意識の向上と地域連携を図り、地域防災力の強化を図ります。</p> <p>2.生涯を通じた健康づくりの推進【No.3:すべての人に健康と福祉を】 持続可能な地域社会を実現するための基本となる健康づくりに、各団体等との連携を図りながら取り組みます。</p> <p>3.市民と協働・連携したまちづくり【No.11:住み続けられるまちづくりを】 市民との協働、連携によるまちづくりを推進し、地域課題の解決や地域活性化に向けて自ら取り組む地域づくりを進め、持続可能な地域社会の実現を目指します。</p> <p>4.地域の強みを活かした地域振興【No.11:住み続けられるまちづくりを】【No.14:海の豊かさを守ろう】【No.15:陸の豊かさを守ろう】 豊かな地域資源（風習文化・伝統工芸・自然景観・食文化・農林畜産物等）が次世代に引き継がれるようにブラッシュアップし、観光事業に積極的に活用していくことで地域の魅力を全国に発信し、さらなる交流・定住人口の増加を図ります。</p> <p>5.移住・定住の促進【No.11:住み続けられるまちづくりを】 移住者や関係人口獲得など、持続可能なまちづくりを目指す地域団体等の活動を支援します。</p> <p>6.地域の特性を生かした産業振興【No.11:住み続けられるまちづくりを】 歴史、文化、風土、景観など地域の強みを活かした市民主体の振興事業や特産品を活用した商品開発などの地域内経済循環を推進し、豊かで自立した農山村の実現及び来訪者・関係人口の増加を目指します。</p> <p>7.生み育てやすい環境づくり【No.11:住み続けられるまちづくりを】 安心して子育てができる環境を確保するためライフスタイルにあわせた支援をおこないます。</p> <p>8.行政財産の有効活用【No.11:住み続けられるまちづくりを】 市民の共有財産である「行政財産・公共施設」について、一層の有効活用のため、地元の意向を把握しながら、管理運営形態や複合的な利用手法を検討します。また、地元協議やHP等での情報発信も積極的に実施します。</p>			
(2) 事業成果目標		指標名及び目標値	
<p>1-① 自主防災組織の強化 市民の生命を守るため、防災意識の向上につながる取り組みを進めていきます。 ・自主防災組織や地域の防災士と連携し、新たな避難場所や避難所を掲載した「真庭市防災マップ」を活用する避難訓練や新型コロナウイルスに対応した避難所設営・運営訓練を実施します。 ・地域防災力の向上のため、北房地域自主防災組織代表者会議を開催し、地域課題の共有と解決にむけ協議し、実践していきます。 ・真庭市自主防災組織補助金制度の周知を積極的に行い、地域の防災活動に必要な防災資機材等の整備や防災士資格取得の支援により、自主防災組織の育成強化及び防災活動の推進を図ります。</p>		<p>指標:①代表者会議実施回数 ②避難訓練実施回数</p> <p>目標値:①2回 ②1回</p> <p>(令和4年度実績値:①1回 ②1回)</p>	
<p>2-① 健康づくりのための実践活動支援 糖尿病予防のための健康づくりに取り組みます。 ・北房地域も糖尿病予備軍が多いため健康課題の解決に取り組みます。 ・糖尿病を含む生活習慣病対策として、「運動」とりわけ取り組みやすいウォーキングの機会を増やす取り組みをします。令和5年度は昨年度作成したウォーキングマップの中の「歴史コース」を活用し、北房ならではの古墳や佐井田城（山城）めぐりをするイベントを開催します。 ・ほくぼう健康づくり実行委員会で、昨年度同様にコスモスマつりのコスモスウォーキングとコラボすることを検討し、健康運動指導士による効果的な歩き方講習の後、ウォーキングを実施します。</p>		<p>指標:イベント参加者数</p> <p>目標値:30人</p> <p>(令和4年度実績値:30人)</p>	

<p>2-②ふれあい・健康づくりの「集いの場」(ささえあいデイサービス、ふれあいいいきサロン運動型等)の立ち上げ支援(北房地域における地域包括ケアシステムの構築促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターや真庭市地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携し、地域住民が自主的な活動として集いの場を開始できるように支援します。 集いの場に関わる地域住民一人一人が主役となり、生きがいや役割を持てるように支援します。 令和5年1月から「おやし塾」を週1回開催しており、引き続き筋力アップができる運動を小集団で6か月実施します。卒塾後は、利用者が地域に持ち帰って集いの場の立ち上げができるよう支援します。 	<p>指標:集いの場新規開始数</p> <p>目標値:2カ所</p> <p>(令和4年度実績値:0カ所)</p>
<p>3-①協働のまちづくりの推進</p> <p>街並みで大勢の人が交流するまちづくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「北房まちの駅」を地域と行政の連携の拠点として、商店街のにぎわいづくりや大学生が活躍するフィールドとして活用し、関係人口を創出していきます。 歴史遺産を保存・活用する西の明日香村づくりに向けて、荒木山西塚古墳の市民主体による発掘調査を実施するにあたり、発掘調査や発掘成果の活用を担う住民組織の活動を支援し、地域づくりの新たな担い手の育成を図ります。 ふるさとセンターなどを活用し、北房の歴史文化遺産を活用した体験講座を実施します。 	<p>指標:①まちの駅利用者数 ②体験講座開催数</p> <p>目標値:①650人 ②8回</p> <p>(令和4年度実績値:①530人 ②8回)</p>
<p>4-①地域振興事業(阿口)</p> <p>里山の資源を活用した地域振興事業に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間活用による北房紅葉公園のキャンプ場と連携し、四季彩湖一帯を魅力あるアウトドアフィールドとして磨きをかけ、交流・関係人口の増加を図ります。 阿口の様々な地域資源を活用しながら人をつなぎ、里山での体験を通じて都市住民や海城住民と交流します。 	<p>指標:①キャンプ場利用者数 ②体験メニュー参加者数</p> <p>目標値:①2,500人 ②20人</p> <p>指標変更 (令和4年度実績値:①2,411人 ②0件)</p>
<p>4-②北房ほたる公園整備事業</p> <p>北房地域振興計画に基づく、「日本一のホタルの里づくり」「学びの里づくり」の実現に向けた環境整備事業に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に行った、北房ほたる公園の改修整備に向けた住民意見の集約に伴う整備構想に沿った実施設計を行います。(改修整備実施は令和6年度予定) 改修計画にあたり、子育て施策の一環として、こども・子育て目線に立った遊具の整備を行います。 	<p>指標:実施設計</p> <p>目標値:1設計</p> <p>新規 (令和4年度実績値:-)</p>
<p>5-①地域間交流の推進</p> <p>「日本一のホタルの里づくり」を目指す取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北房ホタル保存会と連携しホタル保護活動・生態研究を行います。 (ほくぼうホタル学、ヘイケボタルの再生活動など) 北房観光協会と連携した体験プログラムの実施をします。 (渚の交番プロジェクト) 	<p>指標:ホタル保護活動回数</p> <p>目標値:10回</p> <p>(令和4年度実績値:9回)</p>

<p>5-②なりわい塾の開催 北房地域で「真庭なりわい塾」の基礎講座を開催します。 ・新たに第7期生を募集し、遥か昔から紡いできた暮らしを学びながら、持続可能なライフスタイルを模索し、「なりわい」のカタチを提案していきます。 ・なりわい塾を通じて、真庭に移住、関係を継続する人材を確保します。</p>	<p>指標:①塾生数 ②基礎講座開催数</p> <p>目標値:①20人 ②8回</p> <p>指標変更 (令和4年度実績値:8回)</p>
<p>6-①地域の特性を生かした観光振興 里山の地域資源を生かした交流事業を行います。 ・北房観光協会が日本財団の「渚の交番プロジェクト」助成を受け、里山里海交流館「しんぴお」を整備したことを契機として、北房のホテルや自然環境など里山の資源を活用した体験や教育のプログラムを通じて都市住民や里海の人々と交流し、里山から森里川海の連環を発信するモデル地域となることを目指します。 ・交流のパートナーとなる備前市(日生)と人や物産がつながり、双方で活用し合う仕組みをつくります。</p>	<p>指標:拠点施設での交流事業の回数</p> <p>目標値:3回</p> <p>(令和4年度実績値:2回)</p>
<p>6-②北房地域振興計画の推進 北房地域振興計画をもとに、地域振興に取り組みます。 ・北房地域振興計画を地域に浸透させるため、積極的に地域に発信していきます。 ・北房地域振興計画の実現に向けた、推進組織(北房未来づくりネットワーク)を立ち上げており、令和4年度に引き続き、住民主体により行う推進会議の運営を支援します。</p>	<p>指標:推進会議数</p> <p>目標値:10回</p> <p>(令和4年度実績値:10回)</p>
<p>7-①北房つどいの広場を活用した子育て支援事業 地域住民同士の助け合いにより令和3年度からスタートした、小児の一時預かり「にここ」を市民に周知し利用につなげていきます。また、ボランティアの定例会を兼ねた研修会を開催し、つどいの広場の利用者が研修会に参加できるようにするなど、子育て支援に繋がっていきます。</p>	<p>指標:利用登録者数</p> <p>目標値:5組</p> <p>(令和4年度実績値:4組)</p>
<p>8-①管内公共施設の有効活用及び効率的運営の推進 学校等跡地の有効活用の推進に取り組みます。 ・廃校、廃園跡地の有効活用に向けた公募情報等を広くPRします。 ・活用提案があれば、積極的に実現に向け支援や調整を行います。 ・廃校等の活用策(方向性)を検討し、有効活用へ繋げていきます。 ・北房振興局の議場の有効活用方法を模索します。</p>	<p>指標:有効活用策の実現</p> <p>目標値:2件</p> <p>(令和4年度実績値:2件)</p>